

INFORMATION 【期間:平成29年】

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-12-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/47877

INFORMATION

【期間：平成29年】

『ウイルス感染症制御学特別講演会』

テーマ：エンテロウイルス感染症重症化の病態と関連するウイルス・宿主因子の解明

開催日：2月9日（木） 15：00～17：00 場 所：医学類F棟1階 日本語補講室

連絡先：ウイルス感染症制御学 TEL 076-265-2229 E-mail: virus@med.kanazawa-u.ac.jp

この度、(公財)東京都医学総合研究所 ゲノム医科学研究分野ウイルス感染プロジェクト プロジェクトリーダーである小池 智先生、小林郷介先生をお呼びして“エンテロウイルス感染症重症化の病態と関連するウイルス・宿主因子の解明”のテーマでセミナーを行います。

第33回石川県臨床細胞学会学術集会

日時：平成29年2月11日（土） 11時～17時 場 所：金沢大学附属病院 宝ホール

内容：教育講演、特別講演、一般演題、スライドセミナー

第33回石川県臨床細胞学会学術集会は細胞診断学を基礎的、総合的に討論し、意見交換と交流を通し、細胞診断学のさらなる発展に寄与する会であります。特別講演といたしまして、金沢大学附属病院 呼吸器内科 笠原寿郎臨床教授による「肺癌薬物療法と病理・細胞診－相互理解がより良い診療を生む－」、教育講演といたしまして、松波総合病院 病理診断科部長 齊尾征直先生による「SILと鑑別の必要な子宮頸部の異型扁平上皮の鑑別ポイントとその細胞像」を予定しております。

世話人：金沢大学附属病院 病理診断科・病理部 池田博子 TEL：076-265-2027 FAX：076-234-4278

第1回 神経リサーチミーティング

日時：平成29年2月13日（月） 13:00～19:00 場 所：医学図書館2階 十全記念スタジオ

主催：主要研究課題グループ【医医3】（代表：神経解剖学 堀修）

脳神経系の研究を行っている学内の基礎系研究室を中心に、リサーチミーティングを開催します。脳・肝インターフェイスメディスン研究センターとの共催です。各研究室の研究成果を共有し、交流を深めるものです。口頭発表を18題予定しています。トピックスは神経発生・発達、神経変性、エピジェネティクス、疼痛、社会行動、体内時計、疾患モデル動物など、多岐にわたります。どなたでもご参加頂けますので、ご興味のある方はお気軽にお越しください。

問い合わせ先：金沢大学医薬保健研究域医学系 分子神経科学 三枝理博（TEL: 265-2171 E-mail: mieda@med.kanazawa-u.ac.jp）

第27回金沢歯科口腔外科懇話会

金沢歯科口腔外科懇話会は、平成3年に金沢大学歯科口腔外科研修会としてスタートし、毎年回を重ね今年で27回になります。この会は金沢大学附属病院歯科口腔外科に患者さんを紹介して下さった先生と同窓の先生が集まり、歯科口腔外科の臨床と研究に関する研修を行う事を目的としています。本年は、金沢大学附属病院歯科口腔外科から19題の一般演題と特別講演を予定しています。本年の特別講演は信州大学・歯科口腔外科学教授の栗田浩先生にお願いしました。「顎関節症」の最先端の診療について、とても興味深いお話が聞けます。

日時：平成29年2月18日（土） 場 所：金沢エクセルホテル東急

問い合わせ：金沢大学歯科口腔外科医局 TEL 076-265-2444

金沢大学と北陸先端科学技術大学院大学との教育研究活動合同セミナー

「腱特異的転写因子Mkxのノックアウトラット作成による腱の健康を堅持するための研究」

Transcription factor Mkx for tendon development and regeneration

浅原 弘嗣 先生 (Hiroshi Asahara, M.D., Ph.D.) 東京医科歯科大学 歯学総合研究科 システム発生・再生医学分野

日時：平成29年3月10日（金） 17：00～18：30 場 所：金沢大学医学図書館 2階 十全記念スタジオ

連絡先：学際科学実験センター 堀家 慎一 TEL:076-265-2775 E-mail: sihorike@staff.kanazawa-u.ac.jp

ハル先生の「英語論文の書き方」セミナー

講演者：ミリンダ・ハル

本講義は、英文の書き方や英語論文のルールを基礎から教えてくれる2日間の集中講義です。日本在住で翻訳や論文添削の経験豊かなミリンダ・ハル先生が、日本語で講義して下さるというユニークな機会でした。医学系、薬学系、保健学系やガン研などから、学類生、大学院生や若手スタッフが幅広く参加し、英語を理解するとても良い機会となりました。

場所：金沢大学医学類G棟・第3講義室 日時：2017年3月19～20日

主催：脳・肝インターフェイスメディスン研究センター

連絡先：金沢大学 医学系 脳神経医学研究分野・河崎洋志 TEL 076-265-2365 E-mail kawasaki-sec@med.kanazawa-u.ac.jp

第19回国際患肢温存学会

日時：2017年5月10日(水)～12日(金) 場所：ホテル日航金沢

連絡先：金沢大学整形外科医局 TEL:076-265-2374

概要：本会議の主なテーマ、トピックスは『良性、悪性、転移性の骨・軟部腫瘍、および、骨腫瘍の診断と治療』とし、海外からまた国内からも多数の参加者を迎え、開催をさせていただきます。日本で本学会が開催されるのは、1987年に京都で開催されて以来、30年ぶりとなります。また本学会に、諸外国医師と同時に、多くの日本人医師にも参加していただくことは、我が国の医療技術の高さを諸外国の医師へ示す絶好の機会となると同時に、骨軟部腫瘍の治療成績向上に大きく貢献するものと期待しております。

幹細胞生物学セミナー

日時 2017年5月22日(月) 17:30～19:00 場所 医学図書館 十全記念スタジオ

演者 平位 秀世 先生 (京都大学 医学部附属病院 輸血細胞治療部)

演題 Chronic myeloid leukemia as a mode of 'emergency granulopoiesis' hijacked by BCR-ABL fusion protein

連絡先 再生分子医学 赤木紀之 tadayuki@staff.kanazawa-u.ac.jp

共催 医学類MRTプログラムセミナー

セミナーでは、最近明らかになったSTAT5によるC/EBP β の活性化のメカニズム及び、C/EBP β の活性化によるCML幹細胞を標的とした治療戦略の可能性について紹介させていただきます。

機能解剖学セミナー

日時：平成29年5月23日(火) 17:00～18:00 場所：金沢大学医学類F棟1階 修士課程セミナー室

演題：「脂質代謝と生体ストレス応答制御」 後藤 薫 先生 山形大学医学部解剖学第二講座教授

連絡先：金沢大学医薬保健研究域医学系機能解剖学分野 尾崎紀之 TEL：076-265-2156 FAX：076-234-4221

後藤先生は細胞内二次メッセンジャーであるジアシルグリセロール(DG)のコントロールに関与するDGキナーゼの解析を精力的に進められ、これまで数種のDGキナーゼアイソザイム遺伝子をクローニングされ、解析を進めてこられた。本セミナーでは、DGKファミリーの中のDGK ζ について、がん抑制遺伝子p53や炎症応答の中心的役割を担うNF κ Bの機能制御に関わること、またDGK ζ のがん細胞における発現亢進を示された。DGK ζ をターゲットとしたがん治療の可能性にも言及され、今後の発展が期待される

10th International Symposium on Targeted Alpha Therapy, TAT-10

放射性医薬品を用いた悪性腫瘍の治療を内用療法(内照射療法)といいます。抗体等々をキャリアとした分子標的の手法を用いて、放射性核種をターゲットに集積させることにより、それから放出される放射線の殺細胞効果を得ます。これまでは β 線核種が主流でしたが、近年、より効果の大きい α 線核種が注目を集めています。2016年6月には、 α 線核種として、Ra-223塩化ラジウムが去勢抵抗性前立腺癌骨転移治療の承認を初めて得ました。国際的には、種々の癌腫に対する α 線治療が研究されており、我が国でも研究気運が高まっています。今回誘致した国際シンポジウムは、2年に1度開催されるもので、我が国での開催は初めてとなります。海外の α 線研究者約100数十名、国内研究機関・国内関連企業から約150名の参加が期待されます。本学は、内用療法においては国内のオピニオンリーダー的存在であり、このことが誘致成功理由の一つとなったものと思います。

詳細は<http://nuccmed.w3.kanazawa-u.ac.jp/symposium/tat10/>をご覧ください。皆様の参加を期待いたします。

開催日：2017年5月30日(火)～6月1日(木) 場所：金沢市・石川県立音楽堂

連絡先：金沢大学医薬保健研究域医学系核医学 TEL 076-265-2333

第34回日本生化学会北陸支部大会

日本生化学会北陸支部では年に一度会員が集まりその研究成果を発表している（年会）。またさらに年に一度、様々なテーマでシンポジウムを行っている。今回の学術集会は、その年会とシンポジウムを同日6月3日（土）に医学部記念館で行うものである。年会では北陸3県の会員や会員の所属する研究室の学生による口頭発表と一般講演が行われる。特に学生発表のセッションでは、例年、非常に活発なdiscussionが行われる。またシンポジウムでは、ウイルス学の新潮流と題して、国内の新進気鋭のウイルス学者4名をお招きし、ウイルス学の新たな展開について講演及び議論していただく。

連絡先：金沢大学医薬保健学総合研究域医学系 分子遺伝学 村松正道（日本生化学会北陸支部支部長・理事）

TEL：076-265-2176 E-mail：muramatu@med.kanazawa-u.ac.jp

日本生化学会北陸支部ホームページ <http://square.umin.ac.jp/jbs-hoku/index.html>

革新ゲノム情報学セミナー

日時：平成29年6月9日（金） 17:00～18:30 場所：医学図書館2階 十全記念スタジオ

演題：クロモゾーム3次元構造と疾患メカニズム 演者：井ノ上 逸朗 先生（国立遺伝学研究所 人類遺伝研究部門 教授）

内容：最近、クロモゾーム3次元構造を検討する手法(chromosome conformation capture法; 3C)が開発され、プロモーターとエンハンサーの直接かつシス相互作用を検討することができるようになった。本セミナーでは、クロモゾーム3次元構造解析を応用した子宮内膜症の疾患メカニズム解析について紹介していただく。

連絡先：革新ゲノム情報学 田嶋 敦（内線：2715, E-mail：atajima@med.kanazawa-u.ac.jp）

第5回日本難病医療ネットワーク学会学術集会

開催日：2017年9月29日（金）～9月30日（土） 会場：石川県地場産業振興センター 大会長：山田正仁 副会長：駒井清暢

学術集会事務局：独立行政法人国立病院機構医王病院 TEL: 076-258-1180 E-mail: jsnmid5@ioudom.hosp.go.jp URL: <http://jsnmid5.jp/>

内容：本学術集会では、「次世代の難病医療ネットワーク」をテーマとして、本領域の研究や診療の進歩を学び、さらなる発展をめざして討論を行います。

特別講演1：「難病医療（仮）」（南風病院 福永秀敏先生） 特別講演2：「在宅医療（仮）」（聖霊クリストファー大学 川村佐和子先生）

教育講演：「筋ジストロフィー」

シンポジウム1：「緩和ケア」 シンポジウム2：「在宅・災害」 シンポジウム3：「摂食・嚥下」 シンポジウム4：「神経領域以外の難病医療」

The genesis of the antibody revolution in therapeutics: anti-TNF therapy suggests how we can cure rheumatoid arthritis

抗TNF- α 抗体に代表される生物製剤は、関節リウマチ治療にパラダイムシフトを起こすとともに、クローン病を始めとする多くの炎症性疾患の治療薬として使われるに至っています。抗TNF- α 抗体の開発者であり、その臨床応用にも多大な貢献をされたことから、Laskar賞を受賞されるとともに、英国政府からはSirの称号を与えられるなど、国際的にも著名なMarc Feldmann博士が、本学出身の松島綱治東大教授が金沢で主催される第5回国際サイトカイン・インターフェロン学会への参加のために、この秋に金沢に来訪されます。Feldmann博士と長年にわたりご親交の深い松島教授のご厚誼により、抗TNF- α 抗体治療法の開発の歴史について、過去30年近くにわたるFeldmann博士ご自身の経験を踏まえて、学部生を含めた若い医学徒を主な対象として、特別講義をして頂ける事になりました。万障お繰り合わせの上、多くの皆様にご参加いただければ幸いです。

開催日時：平成29年11月2日 15:00～16:30 開催場所：金沢大学十全講堂

連絡先：金沢大学がん進展研究所 分子生体応答(向田) TEL: 076-262-2108 Fax: 076-234-4520 E-mail: mukaida@staff.kanazawa-u.ac.jp

第110回日本消化器内視鏡学会北陸支部例会

開催日：2017年11月19日（日） 9時～17時（予定） 場所：石川県地場産業振興センター新館

開催概要（案） 特別講演：消化器内視鏡学研究と診療の展望（日本消化器内視鏡学会理事長）

教育講演：消化器内視鏡診療にかかわる医療事故の現状

パネルディスカッション：消化管表在がんの浸潤と転移－内視鏡診断と治療の現状－

ランチョンセミナー：消化管がん内視鏡検診の現状

一般演題、初期・後期研修医発表

支部例会事務局 〒920-0934 金沢市宝町13-1 金沢大学がん進展制御研究所腫瘍制御

支部例会長 源 利成 事務局担当 中西宏佳, 浅香（事務）

☎ 076-265-2798 Fax 076-234-4529 E-mail: jsge-hokuriku110@med.kanazawa-u.ac.jp